

仙台市ボランティアセンター広報誌

ぼらせん

BORASEN

vol.24

2024
Winter

特集

仙台青葉学院大学・短期大学 ボランティア活動の連携・協力



学長の
田林 咲一様

当協議会会長の
山浦 正井

ボランティア活動の連携・協力に関する協約(パートナーシップ協約)締結式

より良い地域づくりを目指して、 パートナーシップ協約を締結

学校法人北杜学園仙台青葉学院大学・短期大学と社会福祉法人仙台市社会福祉協議会は令和6年10月30日、「ボランティア活動の連携・協力に関する協約(パートナーシップ協約)」を締結しました。これは地域福祉活動の場での協力関係をさらに確固たるものとしながら、人材育成やボランティア活動の支援を通じ、より良い地域づくりを推進していくことを目的としています。

地域に広がる助け合いの輪。今回は仙台青葉学院大学・短期大学のボランティア活動をご紹介します。



仙台青葉学院大学・短期大学

Contents

特集

- 仙台青葉学院大学・短期大学
ボランティア活動の連携・協力 …… 1-3
- 企業の社会貢献 …… 4-5
・株式会社 仙台89ERS
・株式会社 楽天野球団
- 子どもの居場所づくり …… 6
・あかねちゃん家
- 仙台市ボランティアセンターからのお知らせ …… 7
- イベントインフォメーション …… 8

特 集

仙台青葉学院大学・短期大学の社会貢献

パートナーシップ協約締結大学

仙台青葉学院大学・短期大学

ボランティアを通じて
広がる交流の輪



MOWSA交流プロジェクトに参加の皆さん



震災遺構 仙台市立荒浜小学校の視察



MOWSA交流プロジェクト



震災遺構となった荒浜小学校の視察



あかねグループとの交流

一 地域や団体の枠を超えた取り組み

仙台青葉学院大学・短期大学で、地域のボランティア活動に積極的に参加しているのが「ボランティアサークルkango」です。今では30名を超える学生が、様々な活動を行っています。

令和6年6月には、学生ボランティアを募集する3つの団体(若林健康友の会 暮らしの助け合いの会/認定特定非営利活動法人あかねグループ/連坊商興会 オモシロ案内人)を学内に招き、地域福祉サポーター講座を開催しました。講座では3つの団体の活動紹介のほか、学生ひとりひとりの興味に応じて、団体ごとの質疑応答やマッチングも行っています。ボランティアを「したい・してほしい」人たちの架け橋として、仙台市ボランティアセンターの役割も紹介しました。

令和6年9月には「MOWSA(ミールズ・オン・ウィールズ・サウス・オーストラリア)交流プロジェクト」に参加しました。MOWSAは自分で食事を用意できない人のた

めに食事を届ける団体で、1940年代にイギリスで誕生したと言われています。プロジェクトに参加した学生からは「やがては日本と同じように、高齢化の波が押し寄せるオーストラリア。国の状況は違っても、高齢者・社会的弱者への想いは同じなんだと感銘を受けました」という声が聞かれました。また、プロジェクトの2日目は東日本大震災で被災した荒浜小学校の視察もあり、海外からお越しの皆さんと交流を図りました。災害といえば山火事というお国柄のオーストラリアの皆さんにとって、津波による被害には大きな衝撃を受けていたようです。

東日本大震災被災高齢者との交流ボランティアやレモネードスタンド(小児がんへの社会貢献活動)、社会福祉法人が主催するチャリティ絵画展でのボランティアなど、他にも様々な取り組みを行っている仙台青葉学院大学・短期大学の皆さん。教職員の心強い働きかけもあり、ボランティアを通じた交流の輪は、地域や団体の枠を超えて、さらに大きく広がっています。



だ い が く せい

大学生の 声 VOICE

小学6年生のときの担任の先生が、国際協力機構(JICA)に所属しており、ボランティアで多くの方の手助けをしていました。私自身、その話を聞いてから誰かの手助けができる人間になりたいと思い、ボランティアに興味を持つようになりました。

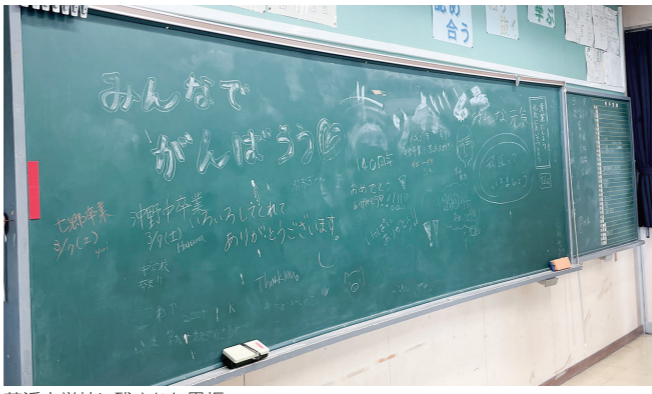
「MOWSA(ミールズ・オン・ウィールズ・サウス・オーストラリア)交流プロジェクト」では、オーストラリアからの視察団の皆さんと直接お話しをして、とても貴重な経験につながりました。交流プロジェクトの一環として認定特定非営利活動法人あかねグループを訪れた際は、お茶の席でおはぎに添えられていた折り紙や楊枝入れについて英語で説明をし、コミュニケーションを図ることができました。文化交流の一助になれたことは大きな喜びです。いずれは自分もJICAの国際ボランティアに参加してみたいという想いがありますが、まずは卒業して臨床経験を重ねていきたいです。

仙台青葉学院短期大学 看護学科3年 **鈴木 渚梨さん**

ボランティア活動は、大学入学時に児童館の子まもりボランティアの話を聞き、興味を持って始めました。「MOWSA(ミールズ・オン・ウィールズ・サウス・オーストラリア)交流プロジェクト」は、授業の関係で2日目の震災遺構の見学のみ参加しました。実際にオーストラリアからの視察団の皆さんとふれ合い、オーストラリアは地震や津波とあまり縁がないため、日本で暮らす自分たちとは受け取り方が違うと感じました。荒浜小学校の壊れた壁や床、黒板に残された文字などを興味深く見ているのが印象的でした。

'24荒町子まもりボランティア会議や、重度の障害を持った子どものお母さんたちが働くカフェのための絵画展など、様々なボランティアに挑戦しています。ボランティアの魅力は、自分の興味に合わせて気軽に参加できることだと思います。これからは自分が周りの皆さんを巻き込みながら、より主体的に活動できるよう頑張っていきたいです。

仙台青葉学院大学 看護学科1年 **手渡 彩乃さん**



荒浜小学校に残された黒板



あかねグループでのお茶の席



荒浜小学校の校庭



荒浜小学校の視察

ナイナズイエローで町を元気に



▲イエロープロジェクト



▲イエロープロジェクト



▲整備された町の様子

ホームタウンをナイナズイエローに染めよう。株式会社仙台89ERSでは、より地域に密着しながら、スポーツの力を通して勇気や感動を与えるため、チームカラーを基調としたイエロープロジェクトに取り組んでいます。

子どもたちを対象とした企画では、長町周辺に黄色い花を植えるプロジェクトを実施しています。「チューリップやパンジー、金木犀などで彩ることにより、自分たちの町をきれいにしようという意識が芽生えるだけでなく、チームカラーであるイエローを見てナイナズとの感動体験を思い出して、明日へのやる気や勇気につながったらいいなという願いが込められています。」とお話してくださったのは、地域連携部長兼広報部長の藤原希美さんです。「子どもも大人も町ぐるみで参加できるようにすることで、地域をもっと元気にできたらと考えています」。花を植えた後は、みんなで試合を観戦し、スポーツを通じて子どもたちの夢までも育んでいます。

地域の皆さんを笑顔に染める、ナイナズイエローによる取り組み。長町周辺に色鮮やかなイエローフラッグ

を掲示している他、長町のマンホールをナイナズイエローに染めたり、「バスケのまち長町」の新しいシンボルとして「幸福の黄色いポスト」を設置したり、ホームタウンを中心に地域を元気にしようという仙台89ERSのイエロープロジェクトは、さらに大きな広がりを見せています。

ボランティア募集



仙台89ERSではボランティアスタッフを募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

日本一のサステナブル・スタジアムへ



▲エコステーションでのゴミ分別回収



▲写真撮影などのお客様対応



▲スタジアム見学会の様子 ©Rakuten Eagles

日本一のサステナブル・スタジアムを目指す。

東北楽天ゴールデンイーグルスは、「東北」を冠に掲げる唯一のプロスポーツチームとして持続的な存在であり続けるため、環境・社会・地域の3つのテーマを軸に、社会課題解決に取り組んでいます。

球団創設以来、継続的に行っているのがボランティアスタッフ制度です。2024シーズンの登録人数は182名にも及び、10代から80代まで幅広い年齢層の皆さんが活躍しています。「楽天イーグルスファン感謝祭」でゴミの分別回収を手伝っていたボランティアさんに聞いたところ、「お客さんと触れ合えるのは何よりの喜びです」「ファンの皆さんから感謝されるのは大きなやりがいにつながっています」などといった声が返ってきました。

2022年からはサステナブルデーを開催し、「見て・触って・体験できる」サステナブルなイベントをスタジアムの各所で実施しています。楽天モバイルパーク宮城には2005年から球界初の「エコステーション」や分別ゴミ回収BOXが設置されており、ボランティアスタッフが

ゴミ分別回収の推進、来場者に対してエコの啓蒙活動を行なっています。これにより、紙資源やプラカップ、割り箸等のリサイクルや、ゴミ焼却効率の向上によるCO2削減が促進されます。また試合日の写真撮影、場内案内や、試合のない日のスタジアム見学会を行ったり、活躍のフィールドはますます広がっています。球団側が押しつけるのではなく、あくまでもボランティアの皆さんが自ら考えて行動につなげている楽天野球団の社会貢献活動。そこには持続可能な未来への扉が広がっています。

ボランティア募集



©Rakuten Eagles

球界参入1年目2005年から20年間続けているボランティア活動を、これからも続けていきたい。ぜひご応募お待ちしております。初めての方も大歓迎！詳しくは球団WEBサイトをご覧ください。

子どもの居場所づくり

～一緒に作って、一緒に食べよう～

あかねちゃん家(仙台市若林区)



一食を通して大切なものを伝えたい

児童館で子どもたちと料理を作っていた経験を活かし、仙台市の子ども食堂助成金をきっかけに始めたという「あかねちゃん家」。「一緒に料理を作って、一緒に食べよう」を合言葉に、月に一回、愛情たっぷりのお食事を提供しています。

スタッフの皆さんは全員が料理好き。おはぎを作ったり、おくずかけに挑戦したり、食べる楽しみだけでなく、作る楽しみも教えています。第四土曜日になると、子どもたちも「今日は何を作るの?」と笑顔で聞いてくるそうです。

「食を通して何かを伝えていきたいと思うんです。『食べることは大事だよ』というメッセージとともに、おばあちゃんの知恵みたいなものを伝えていけたら嬉しいです」とほほ笑むのは、「あかねちゃん家」を運営する認定特定非営利活動法人あかねグループの理事長、清水福子さんです。「多世代の交流の場として、お父さんやお母さんのことも応援しながら、本の読み聞かせや折り紙作りなど、大人から子供へ、大切なものを伝えていきたい」と声を弾ませるスタッフの皆さん。子どもだけではなく、高齢者の方も集まる子ども食堂「あかねちゃん家」は、子どもの食育とともに、愛情をも育む地域のかけがえのない居場所となっています。



みんなで焼きそば作り!



ご飯は炊けたかな!?



おにぎりにも挑戦!



おいしい料理の出来上がり!!

INFORMATION

「あかねちゃん家」に関するお問合せは
認定特定非営利活動法人 あかねグループ

TEL 022-285-0945

仙台市ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティアフォーラムからつながる出会い!



▲仙台白百合女子大学のブースで雑巾づくりを行っている様子



9月28日(土)に福祉プラザにて「令和6年度仙台市ボランティアフォーラム」を開催しました。今年「地域と学生と企業の出会いの場」をテーマに、歌やダンス、楽器の演奏、マジック披露等の芸能ボランティア団体、本格コーヒーを提供する学生団体、手づくりの雑巾を作成し、近隣の小中学校へ寄付する学生団体、災害時の技術系ボランティアを行っているNPO団体や、仙台矯正管区、仙台市道路保全課等さまざまな関係機関・団体が参加しました。

仙台市ボランティアセンターでは、今回発表いただいた団体をはじめ、ボランティア活動を希望する方に登録していただき、地域イベントや施設等での活動にご協力いただいています。

「YouTubeチャンネル」「登録団体一覧」をご覧ください。芸能ボランティアの受け入れを希望する場合は仙台市ボランティアセンターまでご相談ください。

「YouTubeチャンネル」や「登録団体一覧」へのアクセスは下記「QRコード」より!!

本会のYouTubeチャンネル

ボランティア
フォーラム
当日の様子



仙台市社会福祉協議会HP

ボランティア
登録団体一覧



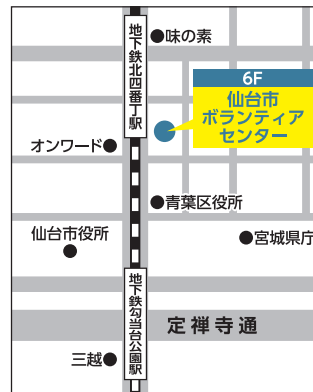
イベントインフォメーション

仙台市ボランティアセンターの 場所が**移転**しました!

この度、仙台市福祉プラザの大規模改修工事に伴い、仙台市ボランティアセンターの場所が移転しました。移転期間は**令和8年10月31日**までの予定です。

新住所

仙台市青葉区上杉1丁目6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台ビル6階
※1階にセブンイレブンさんがあるビルです。



「ボラカフェでお茶しませんか？」

令和6年11月より「ボラカフェ」がオープンしました!仙台市内でボランティア活動に取り組んでいる仙台市ボランティア連絡協議会の皆さんと一緒に、おしゃべりを楽しみながら季節の折り紙やハンドメイド作品を制作しませんか?

みんなで交流しながら作り方を覚えて、自分の地域で活動してもよし!おうちで楽しんでもよし!年齢・性別問わずどなたでも大歓迎です。ご参加お待ちしております!



参加者
募集中
申込不要

日時 **1月10日(金) 10:00~15:00**
(お昼休み12:00~13:00)

場所 仙台市青葉区上杉1丁目6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台ビル8階 第3会議室

青葉区ボランティアセンター

仙台市青葉区二日町4-3 仙台市役所二日町分庁舎1階 TEL022-265-5260

青葉区宮城支部事務所

仙台市青葉区下愛子字観音堂27-1(仙台市宮城社会福祉センター内) TEL022-392-7868

宮城野区ボランティアセンター

仙台市宮城野区原町3-5-20 メゾン坂下1階 TEL 022-256-3650

若林区ボランティアセンター

仙台市若林区保春院前丁3-1 若林区中央市民センター別棟1階 TEL 022-282-7971

太白区ボランティアセンター

仙台市太白区長町南3-1-30南部アーチル1階 TEL 022-248-8188

泉区ボランティアセンター

仙台市泉区七北田字道48-12(泉社会福祉センター内) TEL 022-372-2603

▼ 掲載記事に関するお問い合わせは仙台市ボランティアセンターまで ▼



社会福祉法人

仙台市社会福祉協議会

仙台市ボランティアセンター

〒980-0011

仙台市青葉区上杉1丁目6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台ビル6階

TEL 022-262-7294 FAX 022-216-0140

▼ホームページはこちら

<http://www.shakyo-sendai.or.jp/>

仙台市ボランティアセンター

検索

